



あめ

雨がふってきた！



あめ 雨がおおくなる季節にむけて、あめ たの 雨が楽しみになる本を集めました



あめのおと、いろいろ



『どしゃぶり』(請求記号:Eコウ)



おーなり 由子／ぶん はた こうしろう／え 講談社

にわかにふってきた大雨を 男の子は全身で感じます。どんどん
強くなる雨の様子、どしゃぶりの雨音。言葉もイラストも魅力的な、
雨とあそびたくなる一冊です。

『あめがふってきたよ』(請求記号:Eトク)



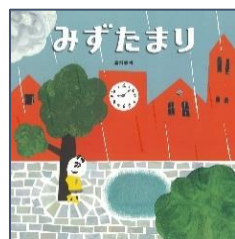
メアリー・サーフォゾ／文 ケイコ・ナラハシ／絵 木坂 涼／訳 徳間書店

雨にぬれてあそぶ女の子。雨によってかわっていくにおいや音、景色が
描かれています。雨を五感で楽しもう。

『あめぽぽぽ』(Eクモ 赤ちゃん絵本) 『あめかな!』(Eフク 赤ちゃん絵本)



たのしい! みずたまり



『みずたまり』(請求記号:Eフレ) 殿内 真帆／作 フレーベル館

雨あがり、みずたまりがその白みたものをおしえてくれました。ふくちゃん、
毎日みずたまりに、みたものをたずねにいきます。しかし、みずたまりは
だんだんちいさくなってゆき…。雨がまちどおしくなる絵本です。



『くじらのいるこみち』(請求記号:Eノウ)

塩野 米松／文 はた こうしろう／絵 農山漁村文化協会

ゆかちゃんの家のはまは土の道。雨のあと、ゆかちゃんは道にできた
みずたまりに、かいをならべて海にします。つぎのひ、ゆかちゃんの海に
さかながあらわれて…。



あめのひのおでかけ



『カエルのおでかけ』（請求記号:E フレ）高 畠 那生／〔作〕 フレーベル館

カエルにとって、雨^{あめ}がなによりいいてんき。どしゃぶりにおおよこびの
カエルは、かさもささずにでかけます。人^{ひと}とはあべこべの、カエルの
ゆかいなおでかけのはじまりです。



『あめのひえんそく』（請求記号:E イフ）まつお りかこ／作・絵 岩崎書店

たの^{たの}しみにしていた遠足^{えんそく}が雨^{あめ}で中止^{ちゅうし}になってしまったモンタ。かなしくて
泣^ないていると、おかあさんが「えんそくにいくわよ！」といいました。
たくさんの工夫^{くふう}と想像力^{そうぞうりょく}で雨^{あめ}の日^ひを楽しく^{たの}くす^{ようす}ぐす^{えが}様子が描かれています。



『雨、あめ』（請求記号:E ヒヨ）ピーター・スピアー／〔作〕 評論社

雨^{あめ}がふってきました。お姉ちゃん^{ねえ}と 弟^{おとうと} は、さんぽにでかけます。みずたまり
で遊^{あそ}んだり、水^{みず}のふえた川^{かわ}を見たり、晴^はれの日^ひとはちがう世界^{せかい}を楽しみます。
雨^{あめ}の日^ひならではの一日^{いちにち}を描^{えが}いた、文字^{もじ}のない絵本^{えほん}です。



『あめふりさんぽ』（請求記号:E コウ）えがしら みちこ／作 講談社

雨^{あめ}の日^ひ、おきにいりのかさをもって、「あめふりさんぽ」にでかけます。
カタツムリさんがこまっていたので、かさ^{かさ}を^かしてあげました…。
雨^{あめ}の音^{おと}や、あざやかなイラスト^{たの}が楽しい絵本^{えほん}です。



あめがふると どうなるの？



『雨の日の地下トンネル』（請求記号:E アリ）鎌田 歩／作 アリス館

たまった雨水^{あまみず}はどこへいくの？ 雨水^{あまみず}は「はいすいこう」にながれこみ、
道路^{どうろ}のしたのトンネル^{とお}を^{あつ}通^{とお}って集められていき…。
大雨^{おおあめ}から町^{まち}をまもるしくみをしようかします。



『雨がふったら、どこへいく？』（請求記号:E ヒヨ）

ゲルダ・ミュラー／さく いとう なおこ／やく 評論社

リュックとマリオンは、沼^{ぬま}へみずくさをとりにでかけます。沼^{ぬま}にはいきものが
いっぱい。でも、雨^{あめ}がふってきたら、みんないなくなってしまう…。
本^{ほん}のうしろのページには、作中^{さくちゅう}の動物^{どうぶつ}や天気^{てんき}のくわしい説明^{せつめい}があります。